

絵入り年賀葉書原画
山口華楊「鳴鶴」



この絵は、昭和59年用寄付金つき郵便葉書（全国版）の原画で、日本画家の山口華楊^{かよう}作「鳴鶴^{めいかく}」です。

山口華楊は、日本画の伝統的な技法を使い、動物や植物を気品高く描いた画家で、昭和56年に文化勲章を受章しています。

絵入り年賀葉書は、昭和58年用から、寄付金つき郵便葉書の裏面に、新年にふさわしい図柄を印刷して発行され、昭和59年用からは地方版も発行されました。

（表紙解説）

東海道五拾三次之内 鞠子（まりこ） 名物茶屋

とろろ汁で有名な丸子の名物茶屋を描いている。梅の花の咲く早春の風景から、芭蕉の句「うめ若菜まりこの宿のとろゝ汁」が思い浮かぶ。茶屋にいる弥次、喜多風の二人連れの客とおかみの姿は、十返舎一九作「東海道中膝栗毛」の丸子の場面を想像させる。

（資料紹介・表紙解説 附属資料館 井上卓朗）